

第Ⅱ章

下水道ビジョン策定の背景と目的

Ⅱ-1 下水道の役割と取組の方向性

湘南ふじさわ下水道は下水道処理人口普及率が約95.5%に達し、40万人以上の市民の皆様が下水道を毎日使用しています。昭和26年に雨水対策を中心として着手された下水道事業ですが、雨水・汚水の処理による快適な生活環境の創出のほか、健全な水循環の創出や資源・エネルギーの有効利用などの循環型社会構築への貢献、集中豪雨や巨大地震等への備えによる強靱な社会構築への貢献など、多種多様な役割が求められています。



湘南ふじさわ下水道のさまざまな役割

浸水を防ぐ



下水道はまちに降った雨水を川や海へ流し、低地部の住居への浸水を防いでいます。

また、宅地化が進み雨水流出量が増加したことや突発的な都市型集中豪雨が頻繁に発生していることから、雨水貯留浸透施設の整備により、川への流出量を抑えます。



生活環境の改善



下水道は家庭や工場などからの排水を速やかに排除し、汚水による生活環境の悪化を改善します。下水道の整備によりトイレの水洗化が進み、台所や風呂などの生活排水が側溝などに流れなくなるため、悪臭や害虫の発生を防止し、清潔で快適な生活環境を確保します。



水環境の保全



家庭や工場などで使い終わった汚水をそのまま海や川へ排出すると、水質の汚濁が進みます。下水道は汚水を浄化し、きれいな水によみがえらせて、海や川へ戻し、水環境の保全に大きな役割を果たしています。



資源の有効利用



下水道には利用できる資源やエネルギーが含まれていません。浄化センターで処理した水を再利用したり、汚水を浄化する際に発生する汚泥を資源として活用したり、資源循環型社会を実現する為の重要な役割を担っています。

また、下水道施設の有効利用として、辻堂浄化センターの上部のテニスコートや野球場を市民開放しています。



用語：雨水貯留浸透施設、汚泥、水循環



湘南ふじさわ下水道の施策の方向性 ～湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐために～

『湘南ふじさわ下水道ビジョン』では、下水道の多種多様な役割や市民ニーズを反映し、将来にわたって下水道サービスを維持・向上させるために、次の4つの視点に基づき、下水道施策方針を定めます。

- ★ 浸水のないまちに住みたい
- ★ 地震でもトイレは使えないと困るなあ
- ★ 下水管が壊れて、道路が陥没したら怖いなあ

1 安全

～安全・安心なまちづくり～

- ★ きれいな海で泳ぎたいよ!
- ★ 湘南の自然やまちをずっと守りたい!
- ★ 限りある資源を大切にしないと!

2 環境

～湘南の自然環境との共生～

- ★ 水洗トイレできれい・快適に生活したいなあ
- ★ 水路の汚れや臭いが気になるなあ...
- ★ きれいな川やせせらぎで遊びたいよ

3 暮らし・活力

～快適で潤いのあるまちづくり～

- ★ ずっと安心して下水道を使いたいわ
- ★ 子供たちにもきれいな環境を残したいわ
- ★ 税金や下水道使用料は有効に使ってほしいわ

4 事業の継続性

～いまでも未来も住み続けたいまちづくり～

I	湘南ふじさわ 下水道のあゆみ
II	下水道ビジョン 策定の背景と目的
III	下水道ビジョンの 基本理念と基本目標
IV	第2期アクション プログラムの実施方針
V	第2期アクション プログラムの事業計画
VI	第2期アクション プログラムの実現化方策

用語：

Ⅱ-2 下水道ビジョンの位置付け

下水道は市民の生活環境・安全を守る最も基本的な社会資本であり、法的には地方自治法における「公の施設」、都市計画法における「都市施設」、水質汚濁防止法における「特定施設」の3つの性質を持っています。

「公の施設」……居住環境の改善、浸水防除など住民の福祉を増進するための施設

「都市施設」……都市の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与するための施設

「特定施設」……終末処理場は、公共用水域の水質汚濁防止のための施設

このように下水道は都市基盤・まちづくりを支える多目的な施設であり、都市計画や流域管理に関する計画などと密接な関係があります。

『湘南ふじさわ下水道ビジョン』は、藤沢市のまちづくりや、湘南の水環境保全を実現するために、市や県の関連計画と整合を図り、下水道の基本的な方針や施策の方向性を示したものです。

藤沢市のまちづくりに関する計画

「藤沢市 市政運営の総合指針」

「藤沢市 都市マスタープラン」

「藤沢市 環境基本計画」など

流域管理に関する計画

「改定かながわ下水道21」

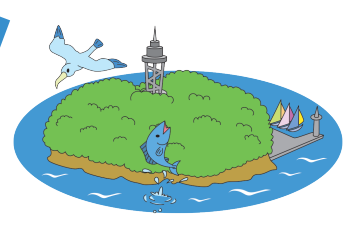
「流域別下水道整備総合計画」

「神奈川県生活排水処理施設整備構想」など



まちづくり
実現のための
下水道施策方針
反映・整合

流域管理
実現のための
下水道施策方針
反映・整合



『湘南ふじさわ下水道ビジョン』

～湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道～



4つの視点で下水道施策を実施し、まちづくり・流域管理に貢献します。

視点1：安全



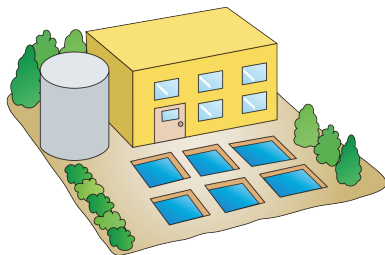
視点2：環境



視点3：暮らし・活力



視点4：事業の継続性



用語： かながわ下水道21、環境基本計画、終末処理場、水質汚濁、水質汚濁防止法、地方自治法、特定施設、都市計画、都市計画法、都市マスタープラン、流域別下水道整備総合計画



藤沢市のまちづくり計画 と 湘南ふじさわ下水道ビジョンの関係

藤沢市のまちづくり計画の中で最も基本的な方針として『藤沢市市政運営の総合指針』が策定され、これに基づき各種のまちづくり施策が実施されています。

『藤沢市市政運営の総合指針 2020』では、これから 20 年程度の期間で目指すべき長期的方向性と目標（「めざす都市像」と「8つの基本目標」）及び重点施策（平成 29～32 年）を定めており、下水道の役割も次のように示しています。

「藤沢市市政運営の総合指針 2020」

長期的な視点 ～ これから 20 年程度の期間で全ての事務事業において 目指すべき方向性と目標 ～

めざす都市像
郷土愛あふれる藤沢 ～ 松風に人の和うるわし 湘南の元気都市 ～

8つの基本目標

- 太字は特に下水道に関連する事項
- 1 安全な暮らしを守る**
 - 2 文化・スポーツを盛んにする
 - 3 豊かな環境をつくる**
 - 4 子どもたちを守り育む
 - 5 健康で安心な暮らしを支える
 - 6 地域経済を循環させる
 - 7 都市基盤を充実する**
 - 8 市民自治・地域づくりを進める

下水道に求められていること

- 視点1：安全**
 - ・地震・津波対策の充実
 - ・風水害対策の実施
- 視点2：環境**
 - ・温室効果ガスの低減
 - ・再生可能エネルギー・クリーンエネルギーに関する取組の充実
- 視点3：暮らし・活力**
 - ・より一層の海、河川の水質環境保全に向けた下水道事業の推進
- 視点4：事業の継続性**
 - ・高度成長期に整備された下水道等の老朽化対策、超高齢社会に適応した機能の充実・強化、規模の適正化

重点施策 ～喫緊に取り組む重点課題の抽出（H29～H32 年の4年間）～
～5つのテーマ、15の重点施策を設定～

下水道に求められていること

まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く	重点施策1 災害対策の充実 市民の生命、財産を守るため、災害リスクを認識した防災、減災の視点から、地震・津波対策、風水害対策、土砂災害対策等を推進します。 ➡浸水対策、地震・津波対策
まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める	重点施策1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進 少子超高齢化への対応や総人口の維持に向けて、自然と調和しつつ市民生活と市内経済を支える都市基盤の充実を図るため、都市拠点の形成、公共施設等の再整備を推進します。 ➡長寿命化対策

用語： 温室効果ガス、減災、長寿命化、防災

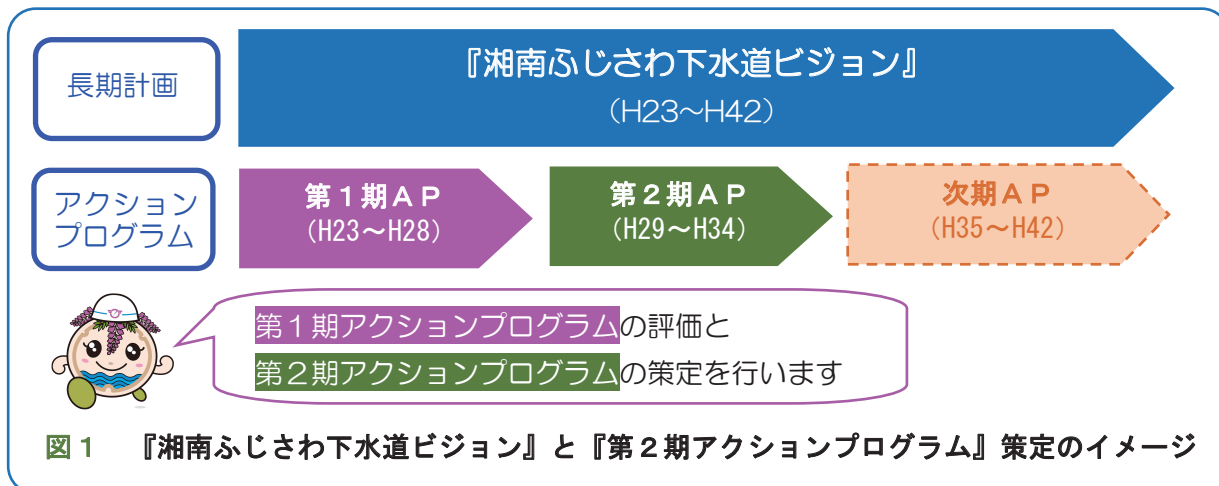
I	湘南ふじさわ 下水道のあゆみ
II	下水道ビジョン 策定の背景と目的
III	下水道ビジョンの 基本理念と基本目標
IV	第2期アクション プログラムの実施方針
V	第2期アクション プログラムの事業計画
VI	第2期アクション プログラムの実現化方策

Ⅱ－3 下水道ビジョン第2期アクションプログラムの位置付け

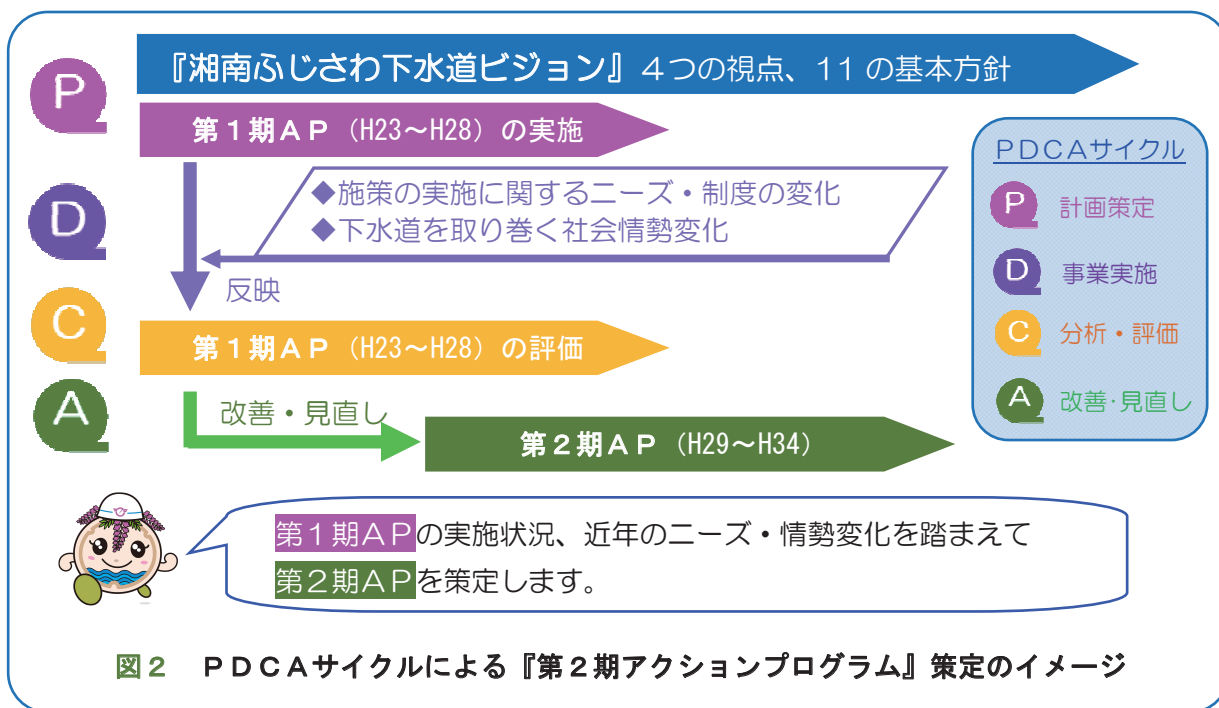
『湘南ふじさわ下水道ビジョン』は、平成23年度から平成42年度の20年間を計画期間として、長期の基本方針及び施策の方向性を示したものです。

また、おおむね6年ごとのアクションプログラム（AP）を策定し、PDCAサイクルにより施策の実施・見直しを行います。

本計画では、第1期アクションプログラム（事業期間：平成23～28年度）の実施状況の評価を行い、次の6年間の第2期アクションプログラム（事業期間：平成29～34年度）を策定します。



第2期アクションプログラムでは、『湘南ふじさわ下水道ビジョン』の方針・長期目標を踏襲しながら、第1期アクションプログラムの実施状況や、近年の下水道を取り巻く社会情勢変化などを踏まえて、今後6年間の実施方針を設定します。



用語：PDCAサイクル



『湘南ふじさわ下水道ビジョン第2期アクションプログラム』の構成

『湘南ふじさわ下水道ビジョン第2期アクションプログラム』は『湘南ふじさわ下水道ビジョン』の長期方針を踏襲するとともに、近年のまちづくり計画や流域管理に関する計画等とも整合を図り、今後6年間（平成29～34年度）の実施方針を定めます。

『湘南ふじさわ下水道ビジョン第2期アクションプログラム』の構成

『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での長期方針	
第Ⅰ章 湘南ふじさわ下水道のあゆみ	湘南ふじさわ下水道の事業経緯と概要を示します
第Ⅱ章 下水道ビジョン策定の背景と目的	『湘南ふじさわ下水道ビジョン』（長期ビジョン）及び『第2期アクションプログラム』の位置付けを示します
第Ⅲ章 下水道ビジョンの基本理念と基本目標	『湘南ふじさわ下水道ビジョン』（長期ビジョン）の基本理念・基本目標、11の基本方針を示します
『第1期アクションプログラム（H23～H28）』の評価と『第2期アクションプログラム（H29～H34）』の実施方針	
第Ⅳ章 第2期アクションプログラムの実施方針	11の基本方針ごとに次の事項を示します 1. 長期ビジョンでの方針・目標 2. 第1期アクションプログラム（H23～H28）の評価 3. 第2期アクションプログラム（H29～H34）の実施方針 4. 第2期アクションプログラム（H29～H34）の目標
第Ⅴ章 第2期アクションプログラムの事業計画	第2期APでの実施方針のまとめと、事業費の見通しを示します
第Ⅵ章 第2期アクションプログラムの実現化方策	第2期APの進行管理の方針を示します

I
湘南ふじさわ
下水道のあゆみ

II
下水道ビジョン
策定の背景と目的

III
下水道ビジョンの
基本理念と基本目標

IV
第2期アクション
プログラムの実施方針

V
第2期アクション
プログラムの事業計画

VI
第2期アクション
プログラムの実現化方策

用語：